

はじめに

東日本大震災に伴って発生した原子力発電所の事故は、日本のエネルギー問題をはじめ、利便性を追求した私たちのライフスタイルのあり方をも考えさせられた出来事でした。

原子力発電に対する安全性やエネルギー需給のひっ迫が懸念されるなか、市民の再生可能エネルギーに対する期待や関心がかつてないほど高まっている等、今後速やかに安全で安心な低炭素社会を構築していく必要性を痛感したところがあります。

このようななか、本市においては、市環境基本計画に掲げた持続可能な地域社会の実現に向け、市民、事業者及び有識者等との協働体制として、平成23年3月に八代市環境パートナーシップ会議を発足いたしました。

本市の環境を取り巻く状況は、平成22年7月に発令した「ごみの非常事態宣言」に見られるように、「燃えるごみ」の減量化や新たな廃棄物処理施設の建設等、市民、事業者の皆様の協力がなくては解決困難な課題が山積しております。

今後は、八代市パートナーシップ会議をはじめ、関係者との連携や協働をより一層深めながら、環境保全施策を着実に推進して参りたいと考えておりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本書は、平成22年度に市及び関係機関が調査した結果を併せて、八代市の現況としてとりまとめたものです。多くの皆様に御高覧いただくことによって、本市の環境の現状について理解と認識を深めていただき、継続的かつ積極的な活動を進めていくための一助となれば幸甚に存じます。

平成24年2月

八代市長 福島 和敏